



新緑の白神自然観察園を散策する教職員ら

# 白神の自然へ理解深め

弘大・自然観察園山開き

## 新任教職員が散策

西目屋村川原平にある弘前大学白神自然観察園が12日、山開きし、長ら約40人の教職員が園を散策した。同日は弘大の新任教職員を対象とした観察会が行われ、遠藤正彦学長が先立ち、園内を散策し、新緑の白神山を楽しんだ。

同観察園は2009

年4月に開園。植物園としては約18秒と日本最大の敷地面積を有している。10年10月には自然環境・環境教育・山里の文化を総合的に研究するために同研究所が発足した。観察会は弘大に今春採用された教職員に、同研究所への理解を深めてもらうことや、雪解けが進んでフィールド調査や研究活動が本格化する前に、関係者の安全意識を高めることを目的に初めて開かれた。観察会に先立ち遠藤学長が「日本最大の観察園を本学の財産にしたい」とあいさつ。

佐々木所長から研究所の概要などが説明された。参加者は石川幸男専任教員と中村剛之専任教員の案内で自然あふれる観察園の遊歩道を散策、カタクリの花や鮮やかなフナの新緑などを楽しんだ。

(齋絢一郎)